

第三章活用事例

小学校一・二年生版「心あかるく
「はたらく」すばりく」

p.106
～
p.107

中心資料

「森の ゆづびんやさん（わたしたちの道徳 小学校
一・二年 平成二十六年 文部科学省）」

【主題名】 みんなのためにはたらく

第一学年及び第二学年 4・②

【ねらい】 働くことのよさを感じて、みんなのために働く。
働くことのよさを感じて、みんなのために働く。
働くことのよさを感じて、みんなのために働く。
働くことのよさを感じて、みんなのために働く。

《ねらいとする道徳的価値について》一・二年生の時期の児童は、当番活動や係活動などに意欲をもって取り組みます。また、ほめられたり認められたりすることでさらに意欲をもちます。こうした実態を生かして、みんなのために働いた経験を思い出しながら働くことのやりがいや人のために役に立つことの喜びに気付かせ、自ら率先して仕事をしようとする気持ちを育てることが大切です。



「あなたは、学校や家でどのような仕事をしていますか。」

○自分の係活動や当番活動の仕事内容について発表させましょう。

○学校の中のことだけでなく、日頃家でしているお風呂掃除や部屋の片付けなどの自分の仕事についても発表させましょう。

○教師が「森の ゆづびんやさん」を読み聞かせましょう。



「森のみんなは、くまさんのことをどのように思っていますか。」

○毎日休まず郵便を配達してくれるくまさんへの思いを丁寧に捉えさせましょう。



「雪の日、やぎじいさんに小包みを届けるために山道を登りながら、くまさんはどのようなことを考えていたのでしょうか。」

○雪や寒さも気にせず、みんなのために働くようとしているくまさんの姿を捉えさせましょう。

中心発問



「手紙を読んだくまさんは、どのようなことを思ったのでしょうか。」

《評価》 みんなのために働くことよさに気付き、働くことのやりがいや人の役に立つことの喜びについての理解を深めることができたか。



「みんなのために働いて、うれしかったことはありますか。」

○「心あかるく」の「はたらく」を読んで、みんなのために働くことのよさを発表させましょう。

○「心あかるく」の「わたし」の欄に、みんなのためにがんばっていることやわからなげりたいことを書かせて発表させ、授業のまとめとしてしましょう。

板書例

あなたは、学校や家でどのような仕事をしていますか。

学校

- ・きゅうしょくとうばん
- ・おてがみがかり
- ・あいさつがかりなど

家

- ・おふろそうじ
- ・しんぶんとり
- ・おさらあらい
- ・せんたくものたたみ
- ・へやのそうじなど

森の ゆづびんやさん

森のみんなは、くまさんのことをどのように思っていますか。

○ くまさんははたらきものだな。

○ まい日休まずゆうびんをはいたつしてくれてありがとう。

○ みんなのことをかんがえておしごとをしてくれているからうれしいよ。



雪の日、やぎじいさんに小づつみをとどけるために山道をのぼりながら、くまさんはどのようなことを考えていたのでしょうか。

○ 小づつみをとどけたら、きっとやぎじいさんがよろこぶぞ。

○ はやくやぎじいさんのよろこぶかおが見たいな。

○ 雪がふっているから、ぶじにとどけるために気を付けよう。

郵便配達をしているくまさんの挿絵

手紙を読んだくまさんは、どのようなことを思ったのでしょうか。

○ みんなのやくに立ってうれしいな。

○ あしたもゆうびんはいたつをがんばって、みんなのよろこぶかおが見たいな。

○ これからもいっしょうけんめいはたらいて、みんなによろこんでもらおう。

みんなのためにはたらいて、うれしかったこと

- 「ありがとう」って言ってもらえた。
- 「いっしょに頑張ろうよ」って言ってくれた。
- みんながよろこんでくれた。
- 自分がやくに立っていてうれしく思った。



《評価》 働くことのよさを感じて、みんなのために働くようになる心情を育んでいるか。

終末

展開

導入